

## 第2回防災教育研究会

日時：平成23年5月25日（水）10：00～11：00

会場：愛媛大学ミュージズ3階 ミーティングルーム

参加者：愛南町、今治市、宇和島市、東温市、愛媛県民環境部、愛媛県教育委員会、  
大洲河川国道事務所、松山河川国道事務所、愛媛大学 計12名

議事内容：

配布物：東日本大震災における四国地方整備局の取り組みについて（整備局）

愛南町防災教育提供資料

愛南町防災教育プログラム

宇和島市防災教育状況等に関するメール内容

研究会開催前に、整備局より、東日本大震災への支援活動概要を報告。その後、愛南町の事例発表を行い、各市町防災教育実施に向けた課題などについて意見交換を行った。討議内容は以下の通りである。

○愛南町の防災教育事例の紹介

- ・計画から活動までに約2年間かかっている。
- ・愛南町と教育委員会等で必ず協定を結び、効果的に進めていくことが重要。
- ・現在、愛南町防災教育プログラムとして、防災教育の指導案等を作成し、学校の先生方が各自ですぐに使用できるように教育委員会等の共有フォルダでダウンロード可能にしている。  
※冊子としても配布。
- ・実践はこれからである。

とにかく、時間をかけて体制を整えることが大事である。また、指導案等、学校ですぐに用いることができるような教材を準備すると、学校は防災教育を受け入れやすくなる。また、学校の先生方の防災意識の高さが実施の鍵をにぎっていると思われる。

○宇和島市の防災教育について

三浦半島の先に位置している蔦淵小学校にて、防災教室や学習会、地震体験車体験等を平成22年度から実施している。本年度も実施予定。

>実施までの過程は？

学校教育課は関連なく、蔦淵小学校が中心となり独自に展開。それを宇和島市が支援している形。宇和島市としては、手を挙げてきた学校を支援しているという体制であり、協定等は結んでいないため、学校により防災教育の実施には偏りがある。（今後の課題）

>手をあげてくる学校とは？

蔦淵小学校では、愛南町から異動してきた先生がいる。その先生が中心となり実施している。

>問題点は？

学校のカリキュラムの変更（ゆとり教育の時間が少なくなった）による防災教育の時間割り当てが難しい

○教育委員会より

県から各市町へは、「教職員の(防災)意識開発への取り組み」を強化することを提案している。

○今後の課題として

地域・子供・教員それぞれを対象として、それぞれの意識改革が必要である。そして最後は自己責任として災害に対応していくことが大事である。

それぞれが各立場で生きる力を育む教育が必要である。

まずは、教員を対象とした防災教育の実施方法等に関する講習的なものの実施が必要。

そして、その教員が子供へ教えて、地域とともに防災教育を展開していく。

そのためには、協定を結ぶ等の運営方法も考慮する必要がある。

○今後のやり取りは、メールにて適宜行う。